

タブレット PC の活用！ ～マット技の完成に向けて～

教科	体育	単元名	マット運動
----	----	-----	-------

本時のねらい

自分の動きを客観的に見ることで、よりよい動きへと修正することができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・1 人 1 台タブレット端末 (iPad) を用いて見本となる動画を共有し、自分の知りたい情報を確認させる。
- ・撮影した動画を確認することにより、客観的に自分の動きを捉え、修正させる。
- ・授業支援ソフトを活用することによって、個人の考えをその場で振り返らせる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット端末 (iPad)
- ・授業支援ソフト (ミライシード)
- ・プロジェクター
- ・YouTube

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○練習場所の確認 ○めあての確認 「技ができるようになるために、修正するところを見つけよう」 (開脚前転、伸膝後転、補助倒立前転、ロンダート)	・プロジェクターで練習の場を映したり、めあてを大きく映したりすることで、練習の場やめあてを確認できるようにする。
展開 (30分)	○自分にあつた技を確認し、正しい動きの見通しをもつ。 ・「回転に勢いが必要だろうか。」 ・「きれいに見せるには手のつく位置が大事だと思う。」 ○確かめるためにどんな方法がよいか自分の動きの動画を見ながら考えを出し合い見直す。 ・「膝が曲がっているのをよくしていこう。」	・見本となる動画を見て、技のイメージをつかませる。 ・客観的に自分の動きを知るために、動画を撮影し合うよう、児童に伝える。 ・動画を見て意見の交流をさせる。 ・修正前と修正後の動きを見比べて、どこがよくなったかを考えさせる。
まとめ (10分)	○学習支援ソフト (ミライシード) のムーブノートを用いて、各自振り返りを書く。 ・「友だちに撮ってもらって見返したり、その技でできていないところを確認したりして、「こうしたらいいのでは」とアドバイスをし合いました。」 ・「伸膝後転の、立つところで、しっかり立てるようになりました。まだ手が追いつかないので、手を調整できるようになりたいです。」	・友だちと協力できたこと、今日できるようになったことを具体的に書かせ、提出させる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1: iPadとプロジェクターを使い、練習場所を確認している様子



写真2: ペアの児童の動きを撮影している様子

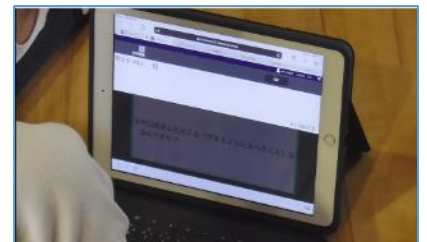


写真3: ミライシードのムーブノートを使用した振り返り様子

児童生徒の反応や変容

- ・多くの児童は、自分の動きを客観的に見る機会が少ないので、友達に撮影してもらって初めて気づくことがあり、より質の高い練習につながった。
- ・タブレット端末 (iPad) を1人1台使用することで、自分の動きを確認し、いつでもどこでも成長を実感できることから学習意欲が高まった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

体育の練習の場を大きく映し出すためのスクリーンは児童への指示が明確になり、効果的だった。展開で、児童がタブレット端末 (iPad) で動画を撮り合うことで、客観的に自分の動きを見ることができ、技の上達につながった。見本の動画も用意したが、動画内で説明を入れてしまい、その確認をすることで活動の時間が少なくなってしまう。振り返りをタブレット端末 (iPad) で提出させることについては、児童も意欲的に取り組んでおり、活動データの保管という面でも効果的だった。